

2020

ノウフク
アワードNOUFUKU AWARD
2020

審査員特別賞

Special Jury Prize

松本ハイランド農業協同組合 (長野県松本市)

受賞理由 モデル的なマッチング制度

無料職業紹介事業をベースに農家と福祉事業所の無料マッチングの仕組みを構築しました。地域農業の振興と障害のある人の働き場所の確保を図っているモデル的な取り組みです。



概要 JAと福祉協議会の強みを合わせる

農業の人手不足の中、地域に根ざしたJAとして、農家と福祉事業所の橋渡し役を担っています。福祉事業所と関係が深い「長野県セルフセンター協議会」と連携し、効率的に農家と福祉事業所をつなげています。

主に低工賃に悩んでいる「就労継続支援B型事業所」に比較的やさしい作業を依頼しています。その内容は、ジュース用トマトの収穫、草取り、マルチシート剥ぎ、剪定枝や長いも棚の片づけなど、技術を要さないが、時間を要する作業メニューです。



成果 障害者と農家双方が取り組みやすく

<農林水産業>

- ・天候等で急に作業スケジュールが変わる農業でスポット的に労働力を確保でき、生産基盤が強化されました。
- ・農福連携で耕地面積の維持・拡大、耕作放棄地の発生防止が果たされ、地域農業の振興につながりました。
- ・JAと農家との関係が深まりました。

<障害者等>

- ・時給制ではなく歩合制にすることで、無理な作業の強

制や焦って作業するリスクを予防できています。

- ・不作や災害等の生産リスクは農家が負うことで、適正金額で受託でき、工賃が上がりました。月平均で3,000円以上増えた事業所もあります。

<地域>

- ・JA農産物直売所でノウフクマルシェを開き、訪れた地域住民や観光客に障害者が活躍する姿をPRできました。直売所へ初めて訪れる障害者の家族も。

ノウフク